

横浜市

超小型電気自動車 (EV) を活用した実証実験の実施

(横浜市)

○取組を行った背景

横浜市では、環境未来都市の実現に向け、運輸部門の低炭素化を図るため、平成23年度から超小型モビリティを活用した実証実験を進めており、平成25年度から2年間、みなとみらい地区を含む横浜市中区・西区を中心に乗り捨て型のワンウェイ型カーシェアリングの実証実験を行った。

平成27年10月からは、上記のワンウェイ型カーシェアリング実験で利用が多かった「観光・レジャー」利用に着目し、レンタカー型の運用を開始した。

○取組の概要

今年度は、超小型EVを活用し、レンタカー型実験をはじめ、以下の取組を行った。

①店舗貸しレンタカー

日産本社での試乗・講習会及び日産レンタカー店舗での貸出しサービス。この取組では、横浜都心部を中心に利用者専用の一時的無料駐車スペースを設置し、都心臨海部における回遊性の向上を図った。

実施期間：平成27年10月～平成29年3月（予定）

実施主体：横浜市、日産自動車株式会社

運営主体：株式会社日産カーレンタルソリューション

貸渡・返却場所：4か所

無料一時駐車スペース：27か所55台分

図1 チョイモビステーション



②ホテルとの連携

みなとみらい地区内ホテルでのレンタカー取次サービスを実施。

実施期間：平成28年8月～平成29年3月（予定）

③ガイドツアー型実験

先導車に乗ったガイドによる説明付きの周遊型観光ガイドツアーをみなとみらい地区等で実施。

実施期間：平成28年3月・7月

④COOL CHOICE ラッピング車による普及啓発

環境省の「COOL CHOICE」普及啓発事業の一環として

車両に特殊ラッピングを実施。公用車利用や国内会議、各種イベント等で展示紹介を行った。

実施期間：平成28年8月～平成29年3月（予定）

図2 COOL CHOICE ラッピング車



○取組の目的

この取組を実施した目的は以下の3つである。

①低炭素交通の推進

超小型EVを新たな移動手段として導入し、マイカーからカーシェアリングへ。(超小型EV、シェアリングの体験)

②都市生活・移動のクオリティアップ

移動手段の多様化による利便性の向上や新たなコミュニティの活性化へ。

③横浜観光の振興

観光エリア間でのアクセス性の向上やチョイモビによる集客力アップへ。(横浜を訪れた観光客の足として利用してもらう)

○今後について

ワンウェイ型カーシェアリングの実証実験終了後、引き続き有人店舗を発着点とするレンタカー型の実証を継続しながら、ITS技術を活用した効率的な運用など、事業継続性の高いビジネスモデルの構築に向けた検討を進めている。

今後は、観光・レジャー利用をさらに促進するとともに、既存の公共交通機関やコミュニティサイクルなどと連携した魅力ある移動手段として普及を進めたい。

図3 市内を走行する超小型モビリティの様子

